

十和田市が将来にわたって持続可能な地域であり続けるため、市では目指すべき将来人口など中長期の展望を示した人口ビジョンや、人口減少克服に向けた共通戦略や具体的な施策、事業を示した第1期総合戦略（平成27年度～令和元年度）を定め、人口減少対策に取り組んできました。

この度、第1期総合戦略の計画期間が終了したことに伴い、人口ビジョンに人口推移の状況を反映させ、また、第1期期間中の取り組みの検証や国、県の総合戦略の内容を踏まえた「十和田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（令和2年改訂）・第2期総合戦略」を策定しましたので、その概要をお知らせします。

1 人口ビジョン (令和2年改訂) のポイント

第1期期間の人口推移

63,429人 ⇒ 61,067人
(平成27年) (令和元年)

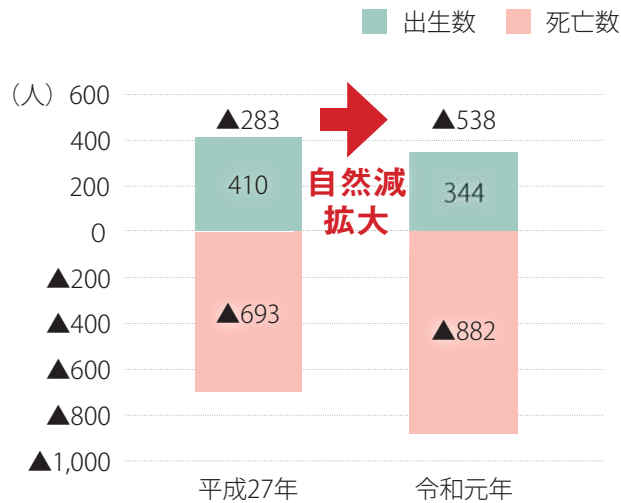
自然増減（※1）と社会増減（※2）の減により、市の人口は減少が続いています。

※1…出生数（生まれた人の数）と死亡数（亡くなった人の数）による人口の増減（出生数－死亡数）
※2…転入者数と転出者数による人口の増減（転入者数－転出者数）

▶ 自然増減の状況

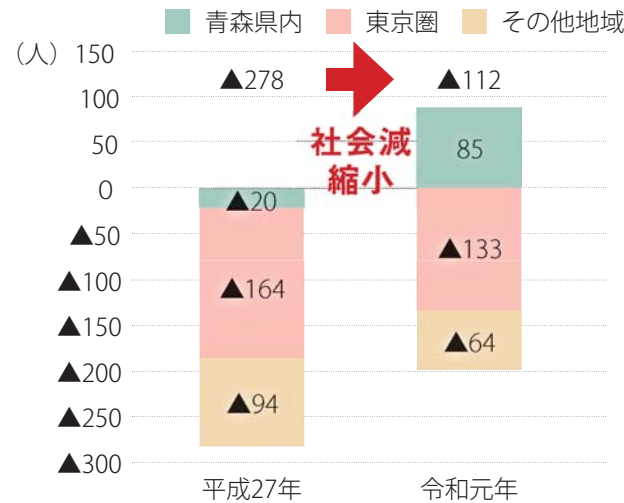
平成27年、令和元年ともに死亡数が出生数を上回っている状況です。

出生数は減少傾向が続き、死亡数が増加していることから自然減が拡大しています。



▶ 社会増減の状況 (地域別比較)

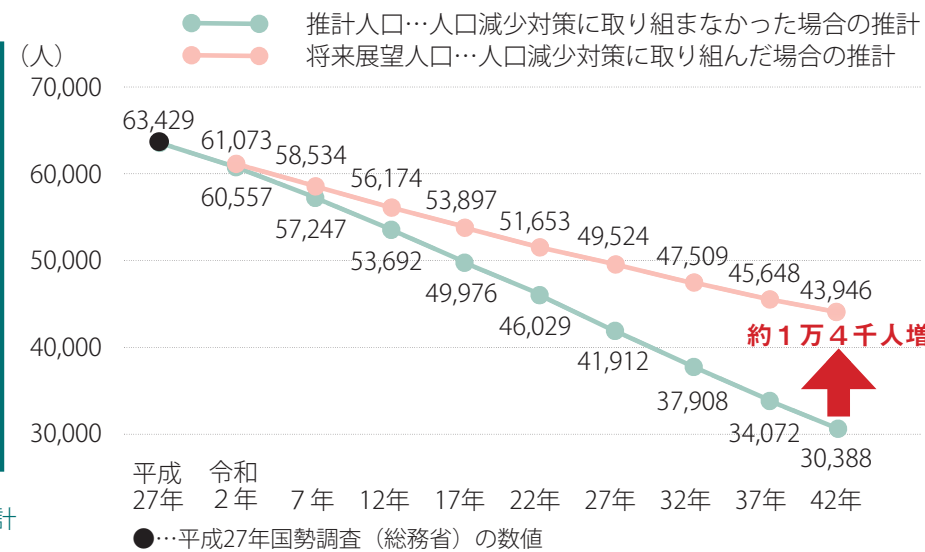
平成27年、令和元年ともに転出者数が転入者数を上回っている状況です。県内からの転入者が増加し、県外への転出者が減少していることから、社会減は縮小傾向にあります。



十和田市の目指す将来の人口 (将来展望人口)

人口減少対策に取り組むことにより、今後の人口減少を抑制し、令和42年の時点で人口減少対策に取り組まなかった場合の推計人口（※3）に比べ、**約1万4千人増の約4万4千人を目標**とします。

※3…国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した推計



2 第2期総合戦略のポイント

総合戦略では、人口ビジョンで示した将来展望人口を達成するために、2つの共通戦略（施策全体に波及させる基本的な考え方）と4つの基本目標（重点的、横断的に取り組む施策群）、具体的施策・事業を示しています。

計画期間 令和2年度から令和6年度までの5年間

取組内容

共通戦略1

多様な人材の活躍する地域社会の推進

共通戦略2

未来技術や地方創生SDGs（※）の視点による持続可能なまちづくり

※持続可能な開発目標、国際連合で合意された世界共通の目標

基本目標1

十和田で“想い”のある仕事を

地域の特性に応じた産業の成長と、安心して働ける環境の実現

◆ 主な施策

- ▶ 農畜産物など高品質などわだ産品のブランド力の更なる向上
- ▶ 地域産業の成長・発展など



基本目標2

十和田で豊かな人生を

地域への新しいひとの流れをつくる

◆ 主な施策

- ▶ 移住希望者への支援体制の強化と若者、子育て世帯などの市内定着促進
- ▶ 地域資源を生かした関係人口（※）の創出



※地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと

基本目標3

十和田ではぐくもう人間愛を

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

◆ 主な施策

- ▶ 出会い・結婚支援
- ▶ 子育て世帯への経済的支援の充実と不妊に対する支援など



基本目標4

十和田で育てよう地域愛を

人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

◆ 主な施策

- ▶ ライフステージに応じた生活習慣の改善
- ▶ 災害に強く犯罪のない、安全・安心なまちづくりなど



人口ビジョン（令和2年改訂）や第2期総合戦略について、詳しくは市ホームページをご覧ください。

Pick up / 十和田暮らしの魅力を発信しています！ (基本目標2 十和田で豊かな人生を)

移住ポータルサイト「日々コレ十和田ナリ」では、移住支援情報や移住者インタビュー動画のほか、十和田暮らしの魅力を発信しています。本市の魅力の一つである温泉・銭湯の特集記事や、首都圏の若者世代を読者層とするメディアに掲載した記事を紹介していますので、ぜひご覧ください。



温泉・銭湯（市街地編）特集記事はこちらのQRコードをご覧ください。



メディア記事はこちらのQRコードをご覧ください。

